

報道関係者各位

プレスリリース

医療法人社団祐優会 Okuno Clinic.

【痛みに関する実態調査】

5割近くの人が、日頃から痛みを感じていることが判明
そのうち8割は慢性疼痛（3ヶ月以上の痛みが続いている）の疑い
～湿布や薬で痛みを緩和している人が多い一方で、根本的治療の普及が望まれる～

慢性疼痛に対し「運動器カテーテル治療®」を中心とした治療を行う、痛み専門のクリニック Okuno Clinic.（所在地：東京都文京区、院長：奥野祐次、読み方オクノクリニック、以下「当院」）は、男女360名を対象に、慢性疼痛の実態や対処法の仕方について調査を実施しました。

調査の結果、日頃から痛みを感じている人は46.4%と約2人に1人が痛みを抱えていることが判明しました。そして、痛みを感じている人の約4割が4年以上前から痛みを抱えているほか、慢性疼痛の可能性が疑われる3ヶ月以上の痛みが続いている人は約8割にのぼることが分かりました。

また、痛みを感じたとき最も効果を感じた対処法では、「湿布などを貼る（27.5%）」人が最多で、次いで「痛み止めなどの薬を飲む（18.6%）」人が多く、痛みを抱える多くの人は根本的解決とまではいかず、湿布と服薬で痛みと付き合っているのではないかと考えられます。

【主な調査結果】

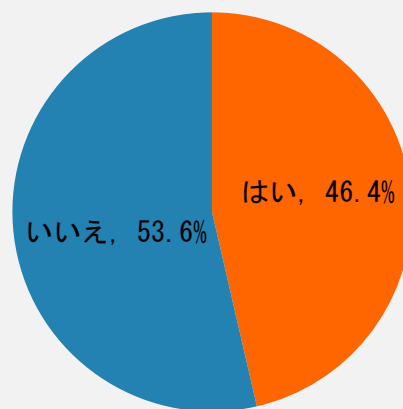
- 1- 日頃から痛みを感じている人は46.4%と半数近くに上り、そのうち約7割が1年以上前から痛みを感じていると回答・・・P2
 - ・いつ頃から痛みを感じているかは、本調査の結果1位「4年以上前」41.3%、2位「2～3年未満」16.2%、3位「1か月～3か月未満」13.2%、4位「6か月～1年未満」9.6%
- 2- 痛みを感じる部位は肩が約6割・・・P3
 - ・痛みを感じる部位ベスト3、1位「肩」56.3%、2位「腰」49.1%、3位「首」35.3%の順
- 3- 痛みを感じた時に効果を感じた対処法は、湿布や痛み止めを飲むが全体の約半数・・・P4
 - ・1位「湿布などを貼る」27.5%、2位「痛み止めなどの薬を飲む」18.6%、3位「マッサージを受ける」15.6%。一方何もしない（我慢する）と答えた人も15.6%いることが分かった。
- 4- 痛みを感じる人の半数以上が、痛みを感じる結果、仕事や家事のスピードが30～50%低下する感覚を持っていることが判明・・・P4

① 痛みをいつ頃から感じているかについて

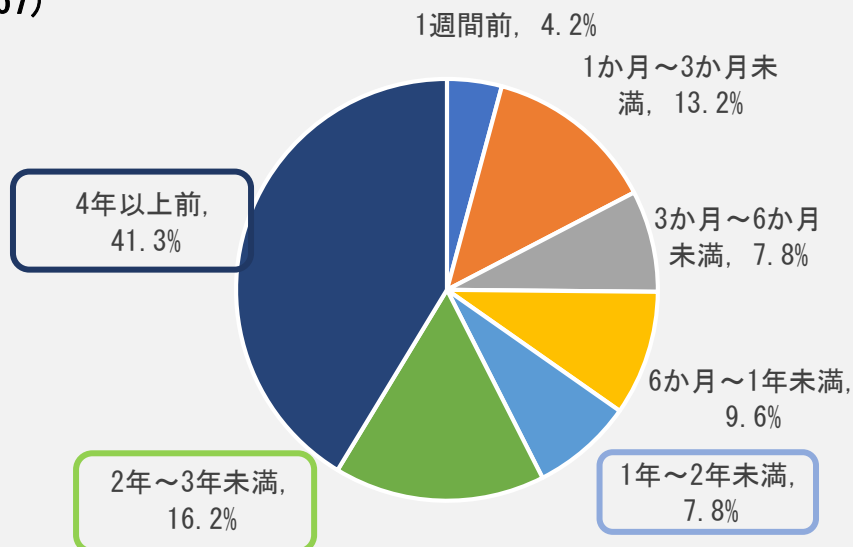
■ 日頃から痛みを感じている人は約半数で、そのうち約8割が慢性疼痛の疑い

日頃から痛みを感じている人に、どれ位前から痛みを感じているか質問したところ、「4年以上前（41.3%）」から痛みを抱えている人が最も多く、また慢性疼痛の可能性が疑われる3ヶ月以上の痛みが続いている人は約8割にのぼることが分かりました。

日頃から痛みを感じている人の割合 (N=360)



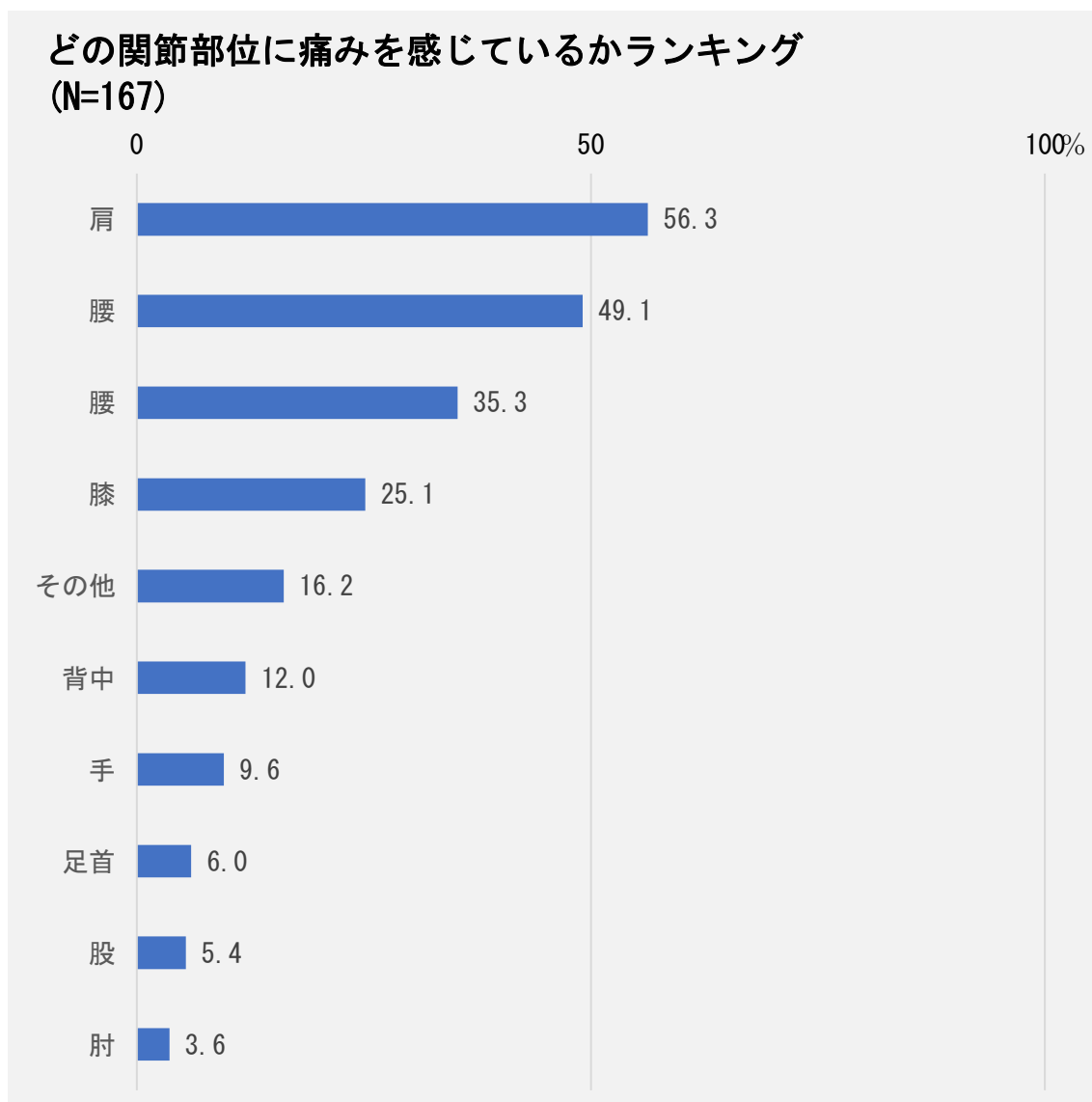
いつ頃から痛みを感じているか (N=167)



② 痛みを感じる部位別ランキング

■1位が肩（56.3%）、2位が腰（49.1%）、3位が首（35.3%）

日頃から痛みを感じていると回答した人にどの部位に痛みを感じるか質問したところ、「肩」、「腰」、「首」の順に多い結果となりました。20~40代では、「背中」という回答も目立ちました。



■その他の回答一覧

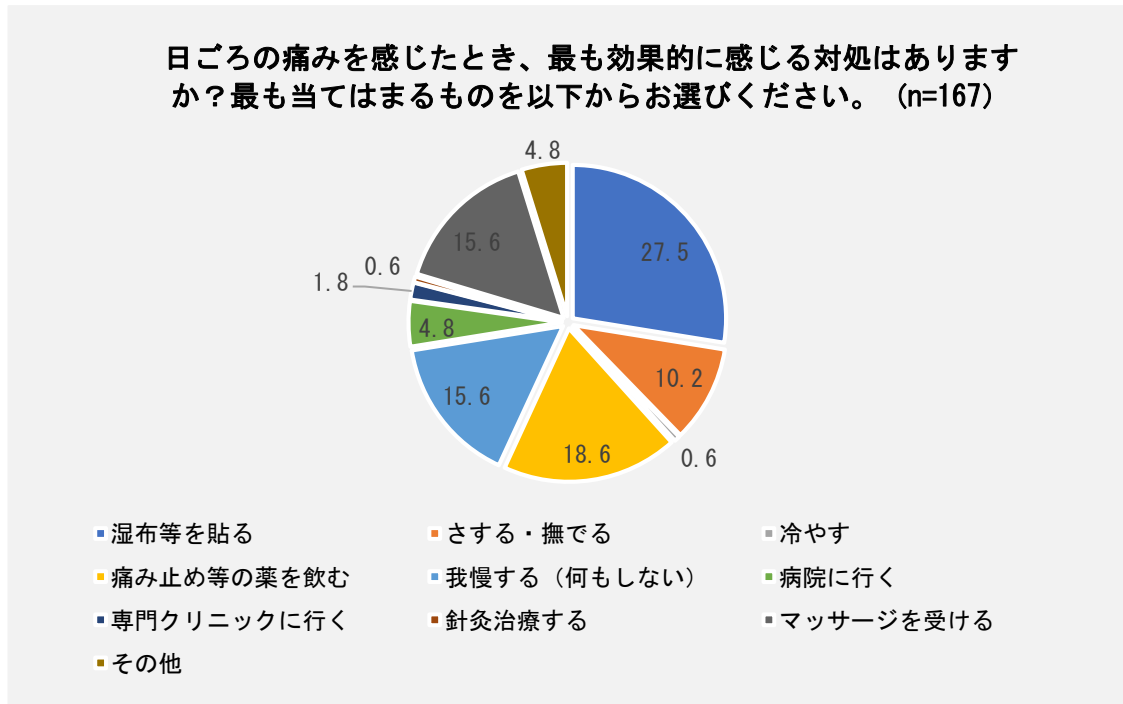
どの部位に痛みを感じていますか、すべてお選びください。（原文ママ）

- ・顔
- ・頭
- ・身体のいろんな箇所
- ・おなか
- ・脇腹
- ・胸の横
- ・臀部
- ・顎

③ 痛みを感じたときの対処法について

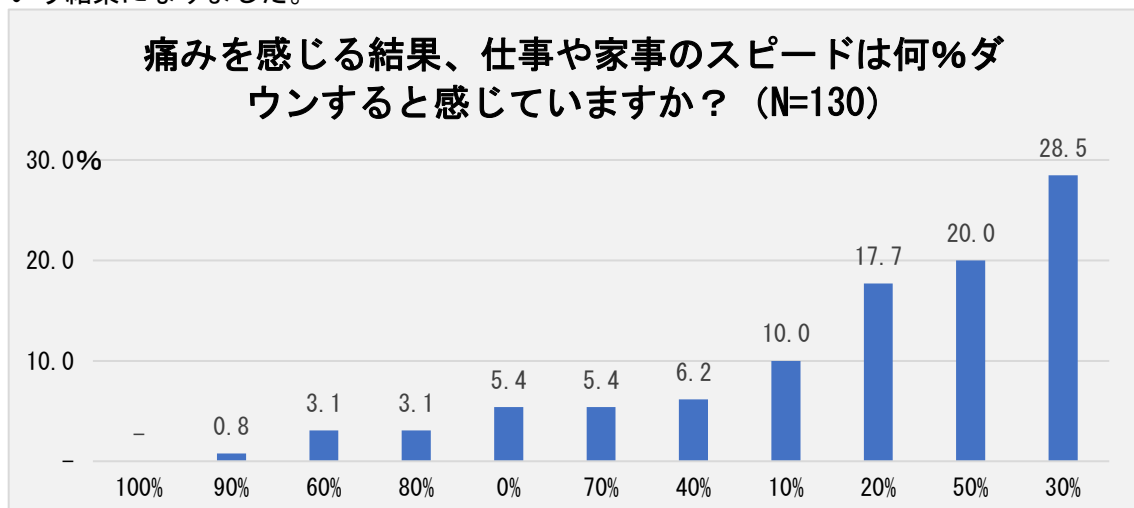
■最も多い対処法は「湿布などを貼る」(27.5%)「痛み止めなどの薬を飲む」(18.6%)

痛みを感じた時に効果を感じた対処法を質問したところ、「湿布などを貼る」が最多で、次点には「痛み止めなどの薬を飲む」が多く、湿布や痛み止めで効果を感じている人は約半数ということが判明しました。一方、「何もしない（我慢する）」と答えた人も 15.6%いることが分かりました。



■痛みを感じる人の半数以上が仕事や家事のスピードが「30～50%低下」

日頃から痛みを感じている人へ、仕事や家事のスピードは何%ダウンすると感じているか質問したところ、「30%」ダウンが約3割と最も多く、次いで「50%」ダウンが約2割という結果になりました。



■考察（オクノクリニック院長 奥野 祐次）

本調査の結果から、長引く痛みの部位として「肩」が継続的に多いのが特徴と分かりました。肩が痛いと回答した人が 56%の答えからも明らかのように、スマホ・タブレット利用の増加が理由の一つとして考えられます。過去の様々な報告から改善の兆しはないことも慢性疼痛業界の問題の一つとして挙げられます。また、痛みを感じる人にとって効果的な対処が「病院」と答えた人が 7%と少ないのも明らかになっており、長引く痛みが治っていない現状が続いていると考えられます。正しい治療、再発防止の提唱が慢性疼痛の治療普及にカギとなってくると思われます。

■調査対象

- 対象条件：10代～90代の男女
- 実施時期：2018年10月30日
- 調査方法：インターネットを利用したアンケート調査
- 有効サンプル数：360サンプル

■運動器カテーテル治療概要

痛みの原因となる新生血管「モヤモヤ血管」を減少させるために考案した、当院独自の治療法。血管の中にカテーテル（細長いチューブ）を通し、肩や膝などの痛みのある場所まで移動させて、少量の薬剤を注入するもの。

- 特徴
 - ・血管の内側には神経が通っていないため、カテーテルを移動させても痛みや違和感はなし
 - ・治療時間は1時間前後
 - ・全身麻酔ではなく局所麻酔を用いるため、日帰り治療が可能
 - ・通常1,2回の治療で痛みを緩和できるので、何度も繰り返し治療する必要はなし
 - ・手術と異なり、治療後に固定や過度に安静にする必要はなく、治療後の比較的早いタイミングでトレーニングの再開が可能

■法人概要

- 法人名：医療法人社団祐優会
- 理事長：奥野 祐次
- 住所：〒106-0032 東京都港区六本木 7-8-4 銀嶺ビル 4F
- 設立：2017年
- 事業内容：他では治らなかった痛みの悩みを改善させる治療サービス
生活・姿勢改善サービス

【本件に関するお問い合わせ】

医療法人社団祐優会 広報 石垣

TEL：03-6801-6539 E-mail：press@okuno-y-clinic.com